

2021年4月19日

株式会社三菱UFJ銀行

東大IPCが運用するオープンイノベーション推進1号への増額出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、次世代の産業育成および本邦経済のグローバルでの競争力強化への貢献を主たる目的として、2020年1月の設立時に出資を行った「オープンイノベーション推進1号投資事業有限責任組合」（以下、本ファンド）に対し、この度増額出資を行うことを決定いたしました。

本ファンドは、国立大学法人東京大学の100%出資子会社である東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（以下、東大IPC）が運営するファンドです。「企業とアカデミアとの連携によるベンチャーの育成・投資」というコンセプトのもと、カーブアウトベンチャーの創出や各業界のリーディングカンパニーと連携した新会社設立を支援し、そのアセットを有効活用するベンチャー投資を実施しております。

当行は、従前より大学発の有望なベンチャー創出・育成に注力しており、2016年の東大IPC設立時より、同大学のイノベーションエコシステムの構築を支え、将来の産業基盤拡充および持続的な成長を支援する活動をしてまいりました。当行は、今後も主要投資家としてMUFJの国内外のネットワークを最大限に活かし、将来有望なベンチャー企業に対するリスクマネーの供給、次世代の産業育成および本邦経済のグローバルでの競争力強化へ向けて、産学連携によるオープンイノベーション促進を支援してまいります。

<本ファンドの概要>

名称	オープンイノベーション推進1号投資事業有限責任組合
根拠法	産業競争力強化法及び投資事業有限責任組合契約に関する法律
投資先	主に国立大学法人東京大学に関連する、カーブアウト、ジョイントベンチャーによる新会社設立、企業アセットを有効活用する初期段階ベンチャー等
出資者	無限責任組合員：東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 有限責任組合員：国立大学法人東京大学、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、ダイキン工業株式会社、芙蓉総合リース株式会社、三菱地所株式会社、株式会社博報堂、日本政策投資銀行グループ、SBIグループ
出資約束金額	241.15億円
存続期間	2020年から15年間

以上